



冬季一時金闘争、東北、関東で有額回答出始める

17 冬季一時金闘争が始まった。全港湾の各地方・支部は、秋年末闘争方針に基づき、要求額については「①昨年同季の率・額以上を地方毎に決定。②要求提出は11月上旬とし地方毎におこなう。③解決目標は11月下旬。④各地方は中央と連携をはかりながらストライキを含む有効な戦術を行使してたたかう」、到達闘争及び労働条件の引き上げについては「労働時間短縮、定年延長65歳、退職者の補充、退職金引き上げ、労災企業補償の引き上げ、等々」として闘争に入った。

東北地方、関東地方で有額回答進む

11月6日現在、速報分会142分会中、23分会(16%)に有額回答が示された。東北地方、関東地方では集団交渉が進み、ほとんどの速報分会で有額回答が示されている。東北地方では3分会が早くも妥結をしている。

参考までに、全港湾の今年の冬季一時金妥結額実績は475、495円(速報分会のみの妥結額実績は498、310円)であった。

交渉はこれから本格化し、回答が揃ってくるのは11月中旬から下旬頃になる見込み。

他団体の回答状況

現時点では、対外発表は行われていない模様。

2017：冬季

<地方別一覧>

2017/11/06 現在

地方名	速報分会数	回答分会数	妥結分会数	回答額平均	妥結額平均	率
北海道	7	0	0	-	-	-
東北	11	10	3	540,632	701,398	1.70
日本海	8	0	0	-	-	-
関東	13	13	0	567,386	-	1.69
東海	14	0	0	-	-	-
関西	38	0	0	-	-	-
四国	13	0	0	-	-	-
九州	28	0	0	-	-	-
沖縄	10	0	0	-	-	-
全国	142	23	3	543,082	701,398	1.70